

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターわくわくキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 5日 ～ 令和7年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日 ～ 令和7年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 5日 ～ 令和7年 2月 14日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4 (回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に応じた専門性のある支援	○職員の研修参加（発達特性の理解、PECS、ソーシャルストーリーズ®、コミック会話、感覚統合、など） ○訪問先への支援グッズの提供	○人材育成 ○内部研修の実施（知識や実践の共有） ○保護者、訪問先との連携と共有
2	子育てに関する助言	○お子さんの特性をふまえた関わり方の助言 ○子育ての悩みの共有	○保護者の孤立感を減らすためにも、関係機関との連携と、保護者同士の関わりへの仲介など
3	訪問先との支援内容の共有	○訪問毎に、訪問先業務に合わせた支援の振り返りを実施 ○支援グッズの提供や助言	○お子さんひとりひとりの特性の理解と支援方法の引継ぎ

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の情報発信	○SNSの利用をしておらず、ホームページの更新も遅い ○できる職員が限られている	○開かれた事業所において、今あるシステムをどのように活用できるのかを再検討し、担当者を決めていく。
2	人員の配置	○訪問先での支援スキルを持っている職員が少ない （訪問先では、お子さんの支援だけでなく、職員の方々との情報共有のための知識やコミュニケーション力、支援の臨機応変さが求められる）	○職員のスキルアップ ○利用人数に応じた人員の配置
3	課題や困りごとを相談しやすい環境	○訪問支援員が訪問で不在のことがある	○人員配置